

ちちぶ

2014.8.10

第37号

市議会だより



吉田学童保育室

5月臨時会・6月定例会

- 正副議長の選出
常任委員会等の委員の決定
- 水道事業調査特別委員会を設置

- り ゆうごんに乗って
- ゆ うきを持って
- う ちゅうの果てまで
- ご ーごーごー
- ん ー楽しいな！この学童

発行：秩父市議会

編集：市議会だより編集委員会

秩父市議会事務局 〒369-1592

秩父市下吉田 6585-2

☎ 0494-72-2122

5月臨時会

5月臨時会が5月16日に開かれ、議案6件について審議いたしました。

また、正副議長の選挙が行われ、議長に小櫃市郎議員、副議長に笠原宏平議員が選出されました。さらに各議員の議席や常任委員会の所属等についても、決定いたしました。

議長あいさつ

市民の皆様には、当市議会に對しまして深いご理解とご支援をいただき、心より厚くお礼申し上げます。

私どもは、去る4月の選挙後、5月臨時会において、議長、副議長に選任いただきました。その責務の重さに身の引き締まる思いであります。円滑な議会運営のため、また市政発展のため、全力でその任務にまい進する覚悟でございまして、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市政においては、秩父市が直面する産科医療体制の充実と救急医療体制の維持の問題に対し、主要施策の一つである「定住自立圏構想」を活用し、「ちちぶ医療協議会」が中心となった取り組みが行われております。また、企業誘致、雇用の確保に対する取り組みも行われ、「秩父市に住んで良かった」と思えるまちづくり構想が進められております。さらに、昨年12月に国の伝統工芸品に指定された秩父銘仙の復活に向けた取り組みなど、秩父市の自然を守り、歴史や文化、伝統を後世に伝えていくための取り組みもなされております。厳しい経済状況が続く中、健全な行財政運営を維持していくため、既存事業を見直し、効果的で効率的に事業を実施し、社会情勢の変

化や新たな政策課題に対応できる組織強化を図り、市民への行政サービスの向上に取り組みんでいかなければなりません。

古くからの伝承文化と歴史に育まれた秩父市は、豊かな自然と文化が織り成す景観と自然森林資源に囲まれています。秩父市の山紫水明は全国に誇れるものであります。将来に向けて、計り知れない可能性ある秩父市の土壌と文化、そしてそれらを取りまく環境を後世に残し伝承していくことが、私達に課せられた使命であると思えます。

市民一人ひとりが安心して暮らして生活できる秩父市づくりのため、秩父郡4町との連携をさらに深めながら、誠心誠意、議会運営に取り組んでまいります。今後とも、市議会に対し、市民の皆さまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

人事案件

任期満了に伴う、秩父市監査委員の選任について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

秩父市監査委員

荒船 功(大野原)

5月臨時会で審議した 議案、請願の結果

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否						
		清流	共産	公明	絆	清野	無会派 竹内	金高
税条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	○
都市計画税条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険税条例の一部改正	承認	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度一般会計補正予算(第6回)	承認	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
監査委員の選任(荒船功氏の選任)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○

清流ク: 清流クラブ(11人) 共産党: 日本共産党秩父市議会議員団(3人)
公明党: 公明党(2人) 絆: 市民の会・絆(2人) 無会派: 会派に属さない議員
※議長は人数に含まれていない。

○: 賛成 ×: 反対
○/○: 賛成人数/会派人数

ありがとうございます
ございました

5月臨時会の盆栽

5月臨時会に盆栽を提供していただいた方は、日本盆栽協会秩父支部の、新井清さん(中村町)です。



新井 清さん提供

常任委員会

◎委員長 ○副委員長

総務委員会	◎高野 宏 ○新井 重一郎 浅海 忠 清野 和彦 竹内 勝利 黒澤 秀之 斎藤 捷栄
まちづくり委員会	◎富田 俊和 ○山中 進 江田 治雄 大久保 進 笠原 宏平 松澤 一雄 荒船 功
文教福祉委員会	◎木村 隆彦 ○福井 貴代 赤岩 秀文 金崎 昌之 落合 芳樹 出浦 章恵 五野上 茂次

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会	◎五野上 茂次 ○斎藤 捷栄 浅海 忠 福井 貴代 新井 重一郎 落合 芳樹 松澤 一雄 荒船 功
---------	--

議席番号及び議場の配置図

					議長		議会事務局 局長								
監査委員		健康福祉 部参事	健康福祉 部長	産業観光 部長	環境部長	速記者		地域整備 部長		地域整備 部参事	吉田総合 支所長	大滝総合 支所長	荒川総合 支所長	総務部参事	
市民部長	財務部長	総務部長	市長室長	副市長	市 長	演壇		教育長		教育委員会 事務局長	病院事務 局長	水道部長	水道部参事	会計管理者	
6		5		4		質問席		3		2		1			
黒澤 秀之		赤岩 秀文		竹内 勝利				清野 和彦		江田 治雄		浅海 忠			
1 4		1 3		1 2		1 1		1 0		9		8		7	
落合 芳樹		笠原 宏平		富田 俊和		木村 隆彦		新井重一郎		福井 貴代		大久保 進		金崎 昌之	
2 2		2 1		2 0		1 9		1 8		1 7		1 6		1 5	
荒船 功		小櫃 市郎		松澤 一雄		五野上茂次		高野 宏		山中 進		出浦 章恵		斎藤 捷栄	

会派別名簿

清流クラブ	荒船功新井重一郎松澤一雄木村隆彦 高野宏黒澤秀之赤岩秀文富田俊和 笠原宏平落合芳樹五野上茂次
日本共産党 秩父市議会議員団	斎藤捷栄出浦章恵山中進
公明党	福井貴代大久保進
市民の会・絆	浅海忠江田治雄
会派に所属しない議員	清野和彦竹内勝利金崎昌之 小櫃市郎(議長は会派に属さない)

附属機関等の委員

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
議員氏名 名称・人員	浅海忠	江田治雄	清野和彦	竹内勝利	赤岩秀文	黒澤秀之	金崎昌之	大久保進	福井貴代	新井重一郎	木村隆彦	富田俊和	笠原宏平	落合芳樹	斎藤捷栄	出浦章恵	山中進	高野宏	五野上茂次	松澤一雄	小櫃市郎	荒船功
広域市町村圏組合議会	8	○						○			○			○			○	○		○		○
監査委員	1																					○
公有財産審議会	8	○		○					○		○	○			○			○				○
青少年問題協議会	1																○					
民生委員推薦会	2								○		○											
障がい者福祉計画策定委員会	1										○											
介護保険運営協議会	2				○											○						
高齢者福祉計画等策定委員会	3								○		○								○			
児童福祉審議会	1										○											
国民健康保険運営協議会	4					○	○	○							○							
健康づくり推進協議会	1										○											
都市計画審議会	6		○			○		○				○				○				○		
景観審議会	3										○	○						○				
市立病院運営委員会	1										○											
秩父4ダムに関わる連絡会	7	○		○		○		○		○			○				○					

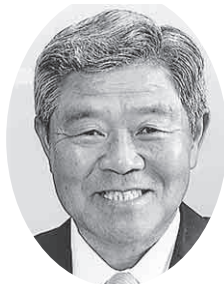
6月定例会

永年勤続表彰

去る4月16日に開催の埼玉県市議会議長会および、5月28日開催の全国市議会議長会の各総会において、永年勤続表彰が行われ、当市議会は次の方が表彰されました。

「埼玉県・全国市議会議長会

表彰 15年以上

出浦 章恵
議員逸見 英昭
元議員宮田 勝雄
元議員

「埼玉県・全国市議会議長会

表彰 10年以上

金崎 昌之
議員笠原 宏平
議員

ありがとう
ございました

◆6月定例会の盆栽◆

6月定例会に盆栽を提供していただいた方は、日本盆栽協会秩父支部の、新井清さん（中村町）、堀口正一さん（大野原）です。

堀口正一さん提供



新井 清さん提供



第3回 議会報告会を開催します！

『市民に開かれた議会』をめざし、日頃の議会の活動状況を知っていただくとともに、市民の皆さまのご意見やご提言を直接お伺いし、今後の議会審議、議会運営等に反映させるため議会報告会を開催します。

と き 11月14日(金) 午後6時30分～
ところ ・影森公民館
・吉田やまなみ会館
・荒川農村環境改善センター
(3会場同時開催)



第2回 議会報告会（平成25年度）の様子

6月定例会で審議した議案、請願の結果

	議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否						
			清流	共産	公明	絆	清野	無会派 竹内	金崎
条例	非常勤消防職員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	税条例等の一部改正	原案可決	○	×	○	○	×	○	○
補正予算	一般会計補正予算（第3回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	一般会計補正予算（第4回）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
契約	工事請負契約の締結（吉田小学校校舎大規模改造工事）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	工事請負契約の締結（大田小学校体育館改築工事）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案	地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書	原案可決	○	×	○	○	○	○	○
	微小粒子状物質（PM2.5）に係る総合的な対策の推進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	使い捨て労働とブラック企業化を加速する労働者派遣法案等の廃案を求める意見書	否決	×	○	×	×	○	×	○
	給付制奨学金制度の創設を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	「手話言語法」制定を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
	水道事業調査特別委員会設置に関する決議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○
請願	「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○
	本庁舎建設及び市民会館建設を市民への説明通りの金額約49億円以下で建設することを求める請願	不採択	×	○	×	×	○	×	○
	秩父市のユニバーサルデザイン化に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○

清流ク：清流クラブ(11人) 共産党：日本共産党秩父市議会議員団(3人)
公明党：公明党(2人) 絆：市民の会・絆(2人) 無会派：会派に属さない議員
※ 議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対 ○/○：賛成人数/会派人数

6月定例会の議案質疑等の内容

※6月定例会（6月11日から25日まで開催）では、市長提出議案6件のほか、水道事業調査特別委員会の設置についての決議を含めた議員提出議案6件、請願3件を審議しました。
※各議案に対する質疑および討論の主な内容は下記のとおりです。

階級役職対応表	
階級	役職
消防団長	消防団長
副団長	方面隊長
分団長	副方面隊長
副分団長	方面部長
部長	部隊長
	副部隊長
班長	分隊長
団員	副分隊長
	隊員

所属別団員数	
所属	団員数
本部	1人
中央特別部隊	14人
第一方面隊	293人
第二方面隊	274人
吉田大田方面隊	274人
大滝荒川方面隊	192人
計	1,048人

質疑
現在、秩父市の消防団においては方面隊組織で運営されているため、今回の改正とわかりづらいつら部分があるので秩父市の消防団組織に当てはまる説明を。
答 所属別団員数および階級役職対応表

非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正



(吉田総合支所3階)

質疑
軽自動車税の増税の背景、ねらいについて、また増税が市民、市に及ぼす影響についてどのようなことを考えているか。
答 平成26年度の国の税制改正により、自動車取得税の交付金が減額になる。それに対して、地方税である軽自動車税を増税する話が出て来た。今回の増税によって、

市税条例等の一部改正



2千7百万円程度の増額を見込んでいるが、自動車取得税の減額は4千万円で、軽自動車税を引き上げても、1千3百万円の減収となる。
問 地方税法において、軽自動車とは別に小型特殊自動車等の税率について市町村の条例によって税率を定めることが出来ることから、小型特殊自動車や法人市民税の税率の改正について、市民からの意見の募集や「市の憲法」と位置付けられる秩父市まちづくり基本条例に規定されているパブリックコメントは検討したか。
答 特に検討していない。
問 なぜ検討されなかったのか。
答 検討という話にならなかったの、実施しなかった。
問 市民が受ける影響は大きいと思うが、市民への周知方法は。
答 ホームページや市報など考えられるすべての方法を用いてお知らせする。

単位：円

車種区分			現行税率 (平成26年度課税)	平成27年度課税		平成28年度課税		
				平成27年 3月31日以前 登録	平成27年 4月1日登録	平成15年4月1日 から平成27年 3月31日登録	平成27年 4月1日以降 登録	初期登録から 13年経過車両 (平成14年度 以前登録)
三輪			3,100	3,100	3,900	3,100	3,900	4,600
四輪以上	乗用	自家用	7,200	7,200	10,800	7,200	10,800	12,900
		営業用	5,500	5,500	6,900	5,500	6,900	8,200
	貨物用	自家用	4,000	4,000	5,000	4,000	5,000	6,000
		営業用	3,000	3,000	3,800	3,000	3,800	4,500
専ら雪上を走行するもの			2,400					
小型特殊 自動車	農耕作業用		1,600	2,400		2,400		
	その他のもの		4,700	5,900		5,900		
原付	50cc 以下		1,000	2,000		2,000		
	50cc 超90cc 以下		1,200	2,000		2,000		
	90cc 超125cc 以下		1,600	2,400		2,400		
	ミニカー		2,500	3,700		3,700		
軽二輪（125cc 超250cc 以下）			2,400	3,600		3,600		
小型二輪車（250cc 超）			4,000	6,000		6,000		

問 市税条例34条の改正により、法人市民税が2.6%引き下げとなるが、どのようなものか、前年よりの減額分はどの位か。
答 法人市民税2.6%引き下げ分は、地方法人税として法人が直接国に納め交付税特別会計に入りそこから市に交付される。今まで自主財源で

あったが国から配分される形になり、依存財源率が若干あがってしまう。影響額については、5千8百万円となる。

問 交付税として市に入る場合どうなるのか。

答 どのように市に交付されるかは、まだ決まっていないが、税として市に入っていたものが国から配分されるので、市としては今までと同額以上配分されることを願っている。

討論

反対

新車販売台数の4割近いシェアを占める軽自動車は、秩父市のように公共交通が衰退した地域では、住民の重要な移動手段となっている。また、原付・二輪車も同様に、地域住民の足として重要な役割を占めている。

今回の軽自動車税増税は、秩父市をはじめとする地方の住民ほど負担増の影響が大きくなる。自動車業界の要望に応じて自動車取得税を減税・廃止し、その減収のツケを軽自動車税の増税で賄うことは、国民に対して、消費税増税に加えて二重の負担を押し付けるものとして容認できない。

また、34条改正については、いっけん税率の引き下げに見えるが、引き下げ分は「地方法人税」として別途徴収され「地方交付税特別会計」に繰り入れられることから、企業の実質負担はこれまでと変わらない。問題は、地方税の一部を国税として徴収し、地方交付税の原資として自治体間の財政力格差を水平調整しようとするところにある。今回の調整は消費税増税と消費税を地方財政の主要財源に据えていく狙いと一体のものであるところから容認できない。

反対

軽自動車税の増税により、約2千7百万円の税収増となるが、消費税の引き上げに合わせた都道府県税である自動車取得税の廃止により約4千万円の税収減。総じて約1千3百万円の税収減となる。

軽自動車税の引き上げを行わない場合、国の交付税の算定が変わり、引き上げを行った場合と比べて約8千7百万円の税収減が推定される。自治体の経営のために、軽自動車税増税はやむを得ないという考えも理解できる。



6月定例会本会議の様子

しかし、市政とは本来市民のよりよい生活に寄与する為にあり、自治体の経営のために市民への負担増が容認されていいのか疑問である。

また自動車取得税の廃止を軽自動車所有者への負担増で調整することに疑問がある。

軽自動車は、過疎高齢化が進展する秩父市において、今後より重要な生活の足となる。

従来の税率を維持し、財政のコンパクト化にむけた施策を推進することこそが目指すべき自治体の姿ではないかと考える。

工事請負契約の締結

小学校2校の校舎および体育館についての工事請負契約締結の議案が提出され、いずれも可決された。

吉田小学校校舎大規模改造工事
金額 約3億6千7百万

業者 円(税込み)
高橋・有隣特定建設工事共同企業体

大田小学校体育館改築工事
金額 約3億3千9百万円(税込み)

業者 守屋八潮・黒沢・黒瀧特定建設工事共同企業体

本庁舎建設及び市民会館建設を市民への説明通りの金額約49億円以下で建設することを求める請願

討論

賛成

入札不調・不落という結果を受けて「合併特例債の発行可能期限である平成32年度末を考慮しつつ、建設費の高騰が沈静化するまでの間延期することとする」という事だが、建設費の高騰が沈静化するという確かな見通しもない現況下では、原

点に立ち返り基本計画から見直すことが必要だ。平成23年8月9日付の資料によれば、「本庁舎、市民会館、外構工事、既設解体費、情報インフラ・備品購入費を含む概算コストとして、約49億円を想定している。この概算コストの額は、事業規模を最大としたケースで本庁舎及び市民会館の床面積のコンパクト化、建設費の低コスト化を考慮したうえで試算したものです。また財政計画に基づく事業費の上限額として想定している金額でもあります。今後施設の用途、規模等について検討を進めたうえで、詳細な設計を行い、上記金額の範囲内で事業費を確定することとなります。」と述べている。そうしたことから考察すれば、49億円は建設事業の絶対条件であり、市民との約束である」と理解することに合理性がある。議請第2号は、採択すべきである。

反対

請願者の気持ちもわからなくもないが、委員長報告にもあったが、環境の変化というか、設計段階以降、6年後のオリピックの東京開催が決定したこと、東日本大震

災の復旧工事が加速していることなどにより、労働単価の改定・資材の高騰、さらに消費税率の改定などから、当局からは2月28日に実施設計概要説明があり、これをもとに、3月議会で26年度予算案を可決している。

また、市民への説明については、市報ちちぶ4月号で、2ページにわたる建設概要の説明がされており、49億円の事業費にさらに、9億円の費用が必要と理解を求めている。市民説明会も4月25日から5回開催され市民への説明もなされてきている。よって、この請願には賛成できない。

地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書

反対討論あり
賛成討論あり

使い捨て労働とブラック企業化を加速する労働者派遣法案等の廃案を求める意見書

反対討論あり

常任委員会の報告

総務委員会

6月定例会で付託された議案6件について報告する。

◆秩父市非常勤消防団員に係る退職償金の支給に関する条例の一部改正

問 5万円アップの目的と消防団員数の現状は。

答 東北の震災以降、消防団員の活動を国が重要視し、秩父市においても山林火災等発生した時には、消防団員の力が重要であり、消防団員確保のため、今回は退職償金を上げていただきたい。

また、消防団員数の現状は、合併当初、1,231人が定数であったが、現在は1,100人で、まだまだ足りないのが現状である。

○原案のとおり可決

◆秩父市税条例等の一部改正

問 軽自動車税を増税する場合としない場合の財政への影響は。

答 増税した場合は、軽自動車税の増税分2千7百万円、自動車取得税交付金の軽自動車減税分4千万円で、差し引き1千3百万円の減額となる。

また、増税しない場合は、増税分2千7百万円がなくなり、交付金の4千万円が減額され、地方交付税が2千万円減額するので、8千7百万円の減額である。

意見 今回の軽自動車税増税は地

方や郊外の住民ほど負担増の影響が大きく、国民に対して、消費税増税に加えて二重の負担となるので容認できない。また、消費税が上がる中で、さらに暮らしの足である軽自動車税が上がることで生活の疲弊感をおこしてしまう。住民の負担を減らしたいという気持ちで異議を唱えたいとの反対意見が出された。

○挙手多数により可決

◆一般会計補正予算(第3回)

○原案のとおり可決

◆工事請負契約の締結

○原案のとおり可決

◆工事請負契約の締結

○原案のとおり可決

◆一般会計補正予算(第4回)

問 5千万円の交付先の概要は。

答 国の地域経済イノベーションサイクルで昨年12月に国が出した施策で、交付先は「(株)秩父ファーマーズファクトリー」、産学金官と連携した事業である。

○原案のとおり可決

まちづくり委員会

6月定例会で付託された議案1件、請願1件について報告する。

◆一般会計補正予算(第3回)

問 労働費の緊急雇用対策費の中の、WELCOME CHICHI OMOTENASHI(ウェルカムチチオモテナシ)事業委託料の内容は。

答 外国人観光客を受け入れるため、観光業に携わる方の英会話力を高める研修を行う。今年の9月から6か月間、2時間のレッスンを週2回、合計40回を予定。

問 幹線51号線(地方庁舎前)の道路工事に伴う物件補償4点の内容は。

答 主に建物の移転補償が1件、工作物の移転補償が2件、借家人補償が1件である。

問 大中橋(大滝中学校入口)の工事は総額でいくらかかるのか。

答 6億5千万円の予定。

○原案のとおり可決

〈請願〉

◆本庁舎建設及び市民会館建設を市民への説明通りの金額約49億円以下で建設することを求める請願

意見 市民からこのような請願が出てくるということは、今後、人口が減少していくと思われる秩父市に見合った建物を建設するべき

だと考えていることがわかる。できるだけ財政に負担をかけないような方法にするべきであるし、それが市民の意見でもある。この請願に賛成していただき、当局には本庁舎等の建設方法を再度考え直すようにしてもらいたい、との意見が出された。

意見 建設事業費については、状況の変化に伴い検討されてきた。今年2月に議会に対し、諸般の状況を考えると約57億9千万円の予算になるという話があり、議会はそれを認めたわけである。また、今後50年、100年使用する施設として考えたときに、苦渋の決断として約9億円を増額することは、市報4月号で説明があり、市民説明会も5日間開かれており、十分とは言えないかもしれないが、市民に周知されている。議会が承認したことなので、この請願に賛成できない、との意見が出された。

意見 26年度当初予算の継続費として、49億円以上の市役所本庁舎等建設事業費を今年の3月定例会で原案可決しているわけで、議会としては、建設事業費の増額を承認している。今さら議会が可決したことを変えるようなことはできないので、この請願の趣旨には賛成できない、との意見が出された。

○挙手少数により不採択

常任委員会の報告

文教福祉委員会

6月定例会で付託された議案1件、請願2件について報告する。

◆一般会計補正予算(第3回)

問 中国残留邦人等支援給付に関する電算システムの改修は法改正によるということだが、具体的にはどのような法改正がなされたのか。

答 今まで中国残留邦人等が亡くなった場合に配偶者の方には生活保障と同水準の支援給付金が給付されていたが、法改正により、それに加えて老齢基礎年金の3%が支給されることになった。

問 対象者は何人か。

答 現在2人、今後最大で5人になる可能性がある。

問 生活保護に関する電算システムの改修は法改正によるものというのだが、具体的にはどのような法改正がなされたのか。

答 生活保護受給者の自立を促進するため、受給者が安定した職業に就いて生活保護を受給しなくなった場合に、就労自立給付金を給付するという趣旨の改正であり、金額的には単身の世帯で上限額10万円、多人数世帯では15万円となっており、生活保護受給者の自立に向けて効果的な制度である。

問 高齢者就業促進緊急雇用創出基金活用事業の446万9千円に

ついて、事業内容および、秩父市シルバー人材センターにおいて雇用される人数、勤務形態はどのような想定か。

答 秩父市シルバー人材センターにおいて営業のノウハウを有する者を雇用し、高齢者の就業機会の確保のため積極的な事業所訪問を行うという事業であり、雇用人数は2名、27年3月までの期限付きの雇用であり、勤務日数は月18日程度を想定している。

問 秩父市シルバー人材センターについて、就労の状況は厳しい状況であると思うが、男女別の登録者の状況や仕事の受注状況などの現状は。

答 24年度の登録者数は867人、男女別の内訳は、男性が597人、女性が270人であり、受注状況については、件数が3,064件、就業の延べ人数は8万2,314人。

○原案のとおり可決

〈請願〉

◆手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願

◆秩父市のユニバーサルデザイン化に関する請願

○以上2件については、いずれも採択

水道事業調査

特別委員会の設置

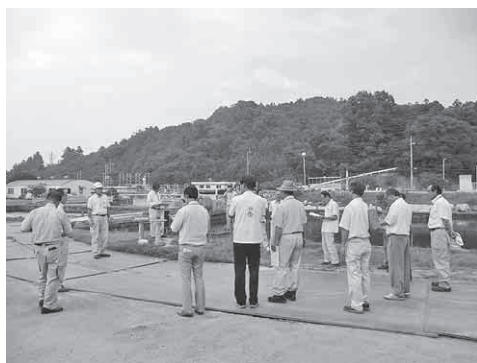
6月定例会で、水道事業調査特別委員会が決議され、8名の委員で設置された。

これは、水道料金の改定や、水道事業の広域化については、市民の関心も非常に高く、大きな問題であり、水道事業の実状を把握し、2つの大きな問題を検討していくため設置した。

◎特別委員会への付託事項

- ・水道料金に係る調査研究
- ・水道事業の広域化に係る調査研究

第一回目の調査特別委員会を、7月14日に行い、市内水道施設を調査した。



現地調査（橋立浄水場の様子）

水道事業調査特別委員会

委員長 荒船 功
副委員長 斎藤 捷
委員 浅海 忠
清野 和彦
大久保 進
新井重一郎
富田 俊和
松澤 一雄

インターネットで議会を傍聴しませんか

本会議の初日（議案説明等）、議案に対する質疑、一般質問、本会議の最終日（採決等）の映像を、インターネットで録画中継しています。ぜひご覧ください。

「秩父市ホームページ」から「秩父市議会」を選択し「インターネット録画中継」を選択するか、

秩父市議会インターネット中継

検索

このように検索すれば、

下記のようにインターネット中継のページが表示されます。



一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです（質問順に掲載）。

① 出浦 章恵（日本共産党秩父市議会議員団） 1 産科の開設 2 手話言語法 3 学校教育	⑤ 清野 和彦 1 秩父市の人口予測と長期ビジョン 2 浄水施設改修工事・緩速ろ過と急速ろ過 3 新市庁舎建設計画の今後と市民への説明	⑨ 福井 貴代（公明党） 1 認知症対策 2 成年後見制度 3 予防接種
② 斎藤 捷栄（日本共産党秩父市議会議員団） 1 市役所および市民会館の建設延期と今後 2 水道料金値上げ計画の推移と今後 3 小中学校普通教室へのエアコン設置	⑥ 黒澤 秀之（清流クラブ） 1 今後の財政見通し 2 雇用政策 3 安心・安全なまちづくり	⑩ 大久保 進（公明党） 1 市民による花のおもてなし 2 健康マイレージ
③ 新井 重一郎（清流クラブ） 1 女性の就労継続の支援策 2 全国学力調査学校別成績の公表は 3 2040年、消滅危機的秩父市	⑦ 赤岩 秀文（清流クラブ） 1 産科医療 2 ふるさと納税 3 山間地域の大雪対策 4 中津川いも	⑪ 山中 進（日本共産党秩父市議会議員団） 1 合併協定における大滝地域の施策 2 雪害対策の現状と将来の見通しは 3 消費者生活センター 4 第6期介護保険制度と市の取り組み
④ 浅海 忠（市民の会・絆） 1 水道事業の今後（料金値上げ・広域化） 2 積雪時の除雪対応とセーフコミュニティ 3 西武鉄道、秩父鉄道、路線バスとの連携 4 東京都荒川区の推進する「幸セリーグ」	⑧ 金崎 昌之 1 庁舎等の建設延期と今後の対応 2 高齢者福祉の現実と課題 3 徳島県神山町に学ぶまちづくり 4 「ちちぶ巡礼バス」の通年運行を	

※ 市議会ホームページのインターネット中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

市民の願い 産婦人科の開設は

日本共産党秩父市議会議員団

出浦 章恵
いであきえ



●産科の開設について

問 安心して出産のできる産科の開設が待たれている。産科医の医師は過酷な勤務と訴訟のリスクが高く、若い医師から敬遠され医師不足と聞く。助産師の育成と、助産師と医師の連携はできないか。

答 秩父地域で分娩を取り扱う助産所や助産師外来を開設するとしても、緊急時に30分以内で対応してもらえ産科診療所は1診療所であり、助産所と連携する嘱託医をお願いすることはこれ以上の負担をかけることになり、当該診療所における現在の受け入れ妊産婦数を考えると、緊急時の受入れは大変厳しい状況。助産師外来の導入は慎重に検討。今後も産科医療を維持し、充実にも努めていく。

●手話言語条例の制定について

問 あいサポート運動に併せて、手話言語条例を制定する考えは。

答 手話は音声言語である日本語と異なる言語であり、手・指や体の動き、表情を使って視覚的に表現する言語であり、耳に障がいのある方にとって日常生活を送るう

えで情報を得たり、お互いの気持ちを理解しあうために大切な言葉として育まれてきた。この条例は、聴覚障がい者と聞こえる人が互いに理解し共生することができ、社会を築くため、手話が言語であるとの認識に基づき、手話の普及を基本理念とした条例であると認識している。今後、聴覚障がい者の意見を聞き、関係団体が主催する勉強会等に参加し、条例の必要性、有効性を調査・研究していく。



障がいを知り、共に生きる地域社会を築くことを目的とした「あいサポート運動」

◎ 学校教育について

一般質問

市民生活の安心・安全をめざして

日本共産党秩父市議会議員団

さいとう 斎藤 捷栄



●市役所及び市民会館の建設延期

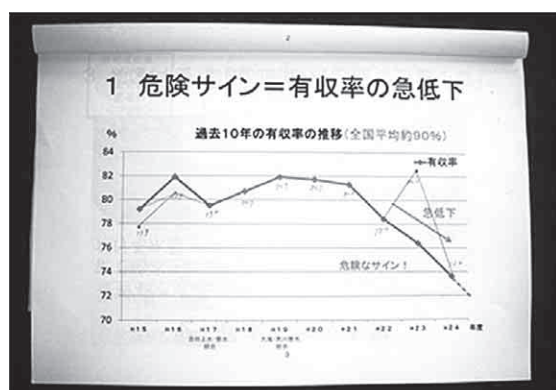
問 入札不落で延期となった建設計画は、当初計画に則り予算縮減を図る計画変更以外に具体的解決方策はないのではないかと。

答 49億円の当初予算計画は様々な事情により約58億円となった。今回入札額と予定価格との間に大きな開きが生じ不落となった。今後、建設コストが沈静化したら現在の設計内容で工事発注を実施したいと考えており、現在計画変更は考えていない。

●水道料金値上げ計画の経緯と今後

問 十分な情報開示と値上げ回避のためのあらゆる財源手立てを尽くすことが必要だ。また実施時期については答申の重みを考慮し、拙速な値上げは避けるべきだ。

答 審議会答申開示など今後は速やかに情報公表したい。県営水道との格差是正のための県営水道化や、当面の秩父地域の水道広域化等の手立ても進めていきたい。また国庫補助金等財源確保のための手立ても尽していきたい。料金体



水道部市民説明会資料＝有収率推移グラフ

●小・中学校へのエアコン設置

問 設置に向けた具体的計画は。
答 現在、実施設計や具体的導入方法について検討している。財政当局との協議もあるが、来年度を見据え、早い時期での設置に向けて努力していきたいと考えている。

女性の就労継続の支援策について

清流クラブ 新井重一郎 あらいじゅういちろう



問 女性の労働力率の年齢分布図「M字カーブ」からわかること。秩父市の傾向は。

答 結婚、出産、子育てのため、25～29歳の年齢層に比べ、埼玉県では30～39歳で約16%の女性が離職。秩父市では同年代で約9%が辞める。

問 女性が出産後働き続けるには子育て支援が不可欠。市の保育園、幼稚園、長時間保育の現状は。

答 市の施設で待機児童はいない。延長保育は現在、公立保育所が1か所、民間が7か所、最長は午後七時まで可能。

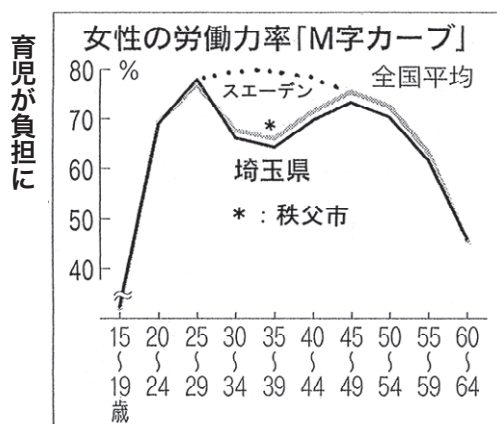
問 認定子供園の内容と現状。

答 これは就学前の子供に幼児教育・保育を一体的に行う施設で、保護者の就労に関らず利用可能。現在、民間の4か所がある。

●全国学力調査学校別成績の公表は教育委員会の判断で可能に。

問 公表のメリットとデメリットは。

答 メリットは、保護者や地域の方が学校の平均正答率や学習課題、授業の改善方法等を知ることが可



能であること。デメリットは市内には小規模校が多く、個人が特定される可能性、過度の競争、序列化等の恐れがあること。

問 大方の父母は公表を望んでいる。教育委員会の判断は。

答 市内全校の結果を自校以外の学校名を伏せて平均正答率を公表する。学校ごとの成績は公表しない。

一般質問

水道事業の今後（料金値上げ・広域化）について



市民の会・絆 浅海 あさみ ただし 忠

問 水道広域化の取組みはどのような行程で行うのか。

答 平成28年4月の組織統合を目指していく。「基本計画」を27年2月上旬までに策定する。27年度当初には、統合協定書を取り交わし、組合規約改正、補助の概算要望、水道事業認可申請事前協議などの事前準備を整え構成市町同意を得た後に認可申請を行う予定。

広域化の後、埼玉県営水道に一本化を目指したい。秩父の美味しい水を寄居町や熊谷市の方まで届けたい。

●西武鉄道、秩父鉄道、路線バスとの連携

問 西武ホールディングスの株式を自治体が取得することについて

答 西武鉄道の利用促進と支援を続けていくのみならず秩父地域全体の課題として西武秩父線利用促進協議会で協議したい。

問 秩父鉄道の影森駅から三峰口駅までの運行を取りやめる噂があるが、その真相はいかがか。

答 秩父鉄道に確認したが「現在そのようなことは一切考えていない」との回答があった。

問 秩父鉄道の活性化と利用促進のために三峰口駅から樋口駅間を自由に「乗り降り」できる「シルバーフリーパス」およびバス通学の定期乗車券を区間定期券でなく「エリア内フリー」の区域定期券を導入することができないか。

答 鉄道およびバス定期券については、1市4町の担当者、秩父鉄道、観光事業者などと導入の可能性について検討する。



秩父地域を支える公共交通

浄水施設改修工事について



きよの 清野 かずひこ 和彦

問 橋立浄水場はいかなる施設か。

答 浄水能力は、急速ろ過方式が1池で8千 m^3 /日、緩速ろ過方式が7池（内1池は予備）で1万 m^3 /日で、合計1万8千 m^3 /日。平成25年度の配水量は、一日平均1万1千 m^3 /日である。

問 改修工事はどういう計画か。

答 平成30年度から32年度において、急速ろ過池の新設工事と緩速ろ過池の改修工事等を計画。改修後の浄水能力は、急速ろ過方式が2池で1万6千 m^3 /日、緩速ろ過方式が4池（内1池は予備）で5千 m^3 /日、合計2万1千 m^3 /日となるが、水利使用許可水量から配水能力は1万8千 m^3 /日に調整する。急速ろ過方式の新設予算は、概ね6億円を予定している。

問 将来、水需要が減る予測の中、緩速ろ過方式を減らし、急速ろ過方式を増やすことによる浄水施設の規模拡大は必要か。

答 水質の悪化への対応、安全性の確保の為、急速ろ過方式を増やす。議会承認はもらっている。

●新市庁舎建設計画について

大きな安全柵で囲まれた建設



橋立浄水場の今後が注目されている

予定地の扱いは今後どうなるのか。

答 当面の間、現状のままで方針が決まり次第、対応をおこなう。

問 メディア各社で報道されてから、市民への正式な発表が1週間以上遅れていた。記者発表と同じ内容をすぐにインターネットで公開してはどうか。

答 市報の発行に合わせてホームページに情報上げる考えであったが、今後、改善したい。

一般質問

今後の財政見通しについて



清流クラブ 黒澤 秀之
くろさわ ひでゆき

問 特例期限が迫る合併算定替え対応と財政健全化計画の実績と今後の展望は。

答 普通交付税の大幅減額に備え、減債基金を積み立て中である。財政健全化計画については、計画通り実行をしていく。

問 ファシリティマネジメント分析検討期(2ステージ)の進捗は。

答 現在、各施設の情報をまとめているところである。

雇用政策について

問 本年より実施される「ちちぶ地域創業支援事業」および、「実践型地域雇用創造事業」とは。

答 起業家に対する支援事業と雇用創造が期待される事業分野に対する推進事業である。

問 各種企業支援、雇用対策、各事業推進機関との繋がりを、分かり易く伝える方法について。

答 今後、ホームページやフェイスブック等へ反映させていく。

安心・安全なまちづくりについて

問 市民参画事業セーフコミュニティ推進事業について、市民に

する広報、周知方法は。

答 引き続き説明会やホームページ、市報等にて情報発信していく。

問 インターナショナル・セーフスクール(ISS)認証の進捗状況は。

答 モデル校の3校ともに、順調に取り組んでいる。



財政健全化計画



インターナショナル・セーフスクール花の木小学校

産科医療について



清流クラブ 赤岩 秀文
あかいわ ひでふみ

問 秩父市では、秩父市経営方針その第1項目に産科医療の確保を掲げているが、産科開設に向けて目標年度の設定、スタッフ、施設の規模等の計画、必要経費の概算はどのようにされているのか。また、助産師の育成、ハイリスク出産への対応は。

答 勤務していただく医師が現在確保できておらず、確保でき次第、計画および概算をすすめていく。助産師については市内産科へ研修派遣を行っている。ハイリスクな妊産婦さんの受け入れも考慮し関係医療機関と連携していく。

問 秩父市における妊産婦さんのうち、1割位の方が秩父地域外の産科を受診している現状があるがその理由と支援策は。

答 理由としては、リスクの高い出産を考慮する方、秩父では待ち時間が長いため、里帰り出産のため等と考える。支援策については、ケースが様々であるため見送った経緯がある。

ふるさと納税について

問 ふるさと納税制度が導入され数年経過しているが、納税の件数

金額の推移、納付時の特典等はどのようになっているか。

答 過去3年間の実績では、件数金額的にも伸びている。特典については、納付金額に応じて、市内観光文化施設招待券や特産品を差し上げている。制度の有効活用を図るため、今後も調査、研究をしていく。



◎山間地域の大雪対策について
◎中津川いもについて

一般質問

庁舎等の建設延期と

今後の対応は



かなざき まさゆき
金崎 昌之

んでいる。

●「ちちぶ巡礼バス」の通年運行を

問 伝承館内の劣悪な作業環境や市民スペースの不足等は、建設延期の最長6年もの間、とても待てる状況に無い。早急に市の空き施設等を活用した再配置が必要。

答 今後、組織の再配置も検討する必要があると考えている。

●高齢者福祉の現実と課題

問 老老介護世帯や認知症介護世帯では、介護をする方の健康破壊や虐待などで、命に関わるほど切迫した事態に陥っている場合がある。行政として、早急な対応は。

答 一人暮らし高齢者以外の実態は、十分に把握されていない。ショートステイの周知や地域全体での見守りが重要。虐待は、早急に対応を進めなければならない課題。

●徳島県神山町に学ぶまちづくり

問 今、徳島県の山間にある人口6千人足らずの神山町が、移住者が押し寄せ、テレビ等でも取り上げられる魅力的な町に変貌している。この取り組みに学ぶ考えは。

答 秩父市でもいろいろと取り組



ちちぶ巡礼バスを紹介したパンフレット

認知症対策



たかよ たかこ
公明党 福井 貴代

問 秩父市の高齢化の進展状況と課題。軽度認知障害の早期発見と早期予防に対する市の取り組みは。

答 65歳以上の高齢者の割合は、現在28・9%。平成35年には、高齢化率32・6%で、約3人に1人が高齢者という状況になると推計。独居高齢者の生活支援や認知症対策が必要になる。平成21年から取り組んだ認知症サポーターの育成数は4753人。総人口に占める割合は7%で、県平均の2・3%を大きく上回っている。今後は第6期高齢者福祉計画や介護保険事業計画の策定の中で検討していく。認知症の前段階の状態である、軽度認知障害を発見するための「あたまの健康チェック」や「認知症簡易チェックサイト」の導入については、認知症の早期発見・早期予防への新しい取り組みであり、他市の実績を見ながら検討する。

●成年後見制度

問 当市の成年後見制度利用支援事業実施要綱を、市長申し立て以外の人でも利用助成の対象となるよう、見直しができないか。また1市4町の連携で、同内容の要綱

◎ 予防接種について



認知症の早期発見のために「あたまの健康チェック」

答 財政状況や他の問題点を考慮したうえで、要綱の改正について検討する。今後は郡内で足並みをそろえていく。市民後見人養成研修を11月から3月にかけて開催。約20名を募集し9日間の研修を予定。市民後見人の養成に努める。

一般質問

市民による

花のおもてなし



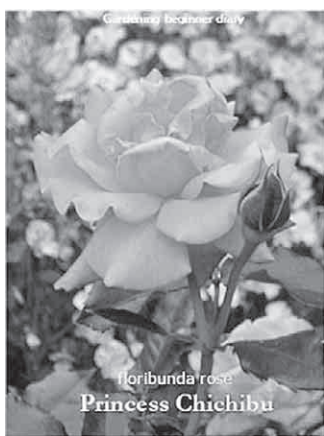
公明党 おおくぼ すずむ
大久保 進

問 ガーデニング愛好家は自慢の庭園を見て欲しいと思っている方が多い。「市民による花のおもてなし」としてオープンガーデンを紹介するマップを作製してはどうか。

答 オープンガーデンは市民協働による「花のおもてなし」であり大変素晴らしい事だと感じている。花の効果は観光誘客に重要で必要な事だと思う。そこで芝桜イベント期間に羊山公園に向かう道中でオープンガーデンを実施していただける方を募集し、散策マップを作製するなど観光イベントに合わせた形で検討出来ると思う。

問 秩父の宮妃殿下の名を冠した「プリンセスチチブ」を市役所本庁舎や各支所に植栽し、広く市民に知らせたらどうか。

答 今後、新しい市民会館を建設した際には、宮内庁にご承認をいただき引き続き「秩父宮記念市民会館」とさせていたいただきたいと考えている。そのような事から「プリンセスチチブ」の植栽は本庁舎よりも市民会館の方がふさわしいと思う。今後、関係部局と協議を重ね方向性を決定したいと思う。



プリンセスチチブ

健康マイレージの取り組みについて

問 導入の考えは。

答 導入をした多くの自治体では、健康づくり事業への参加や、体を動かす事を通し、がん検診・特定検診の受診率向上や、将来の医療費削減を目指して実施している。実施する場合には、最大の効果をj得る事ができる事業内容について、調査・研究をしていく。

くらしと福祉の現状



日本共産党秩父市議会議員団 やまなか すずむ
山中 進

合併協定における大滝地域の施策について

問 仮称大滝トンネルの現状。温泉を利用したりハビリ療養施設について大滝地域では協議会を立上げ積極的にこれを推し進めたいという地域の声に対する支援は。

答 落石や災害時に必要だ。関係機関に要望していく。

雪害対策の現状と見通し

問 雪害対策の現状と将来の見通しは。被災農家は再建するのにもまだまだとの事、さらに国や県・市の助成があると云っても経費が個人の負担はかかると不安をのぞかせているが。

答 大雪被害対策に関する農水省の通知を受け、調査し、申請など手続きについて支援し対応したい。

第6期介護保険制度と市の取り組みについて

問 要支援者への訪問・通所介護を保険給付から外して市町村の事業に移すのは「受給権のはく奪」であり、要介護1、2の人を特別養護老人ホーム入所の対象外とす



クマの出没は大雪によるエサ不足の影響か（4月下旬撮影）

意見書

6月定例会の最終日に、議員提出議案の意見書5件が提出され、審査の結果、4件は原案のとおり可決、1件は否決されました。可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。内容については、次のとおりです。

地域包括ケアシステム構築のため地域の実情に応じた支援を求める意見書

1 医療・介護・福祉の良質な人材を確保するため国家戦略として抜本的な対策を講じること。特に介護人材については、2025年に向けてさらに100万人のマンパワーが必要とされており、次期介護報酬改定に向けて的確な対応を行うこと。

また、外国人材の活用が議論されているが、現在の介護人材の社会的評価に与える影響を十分考慮し、慎重な議論を行うこと。

2 今回の診療報酬改定について、在宅訪問診療に係る改定が行われたが、市区町村の現場において集合住宅などへの訪問診療が大きな影響を受けることも想定されるため、改定の影響について

て実態調査を行い、適切な対応を行うこと。

3 地方自治法の改正により創設される連携協約制度の活用など、広域行政上の取り組み事例の周知など、市区町村への適切な情報提供に努めること。

4 社会保障・税一体改革の趣旨に添い、平成26年度に引き続き、消費税を財源とする財政支援制度を拡充すること。また、本年度の基金については趣旨に添い、適切な配分に留意すること。

5 特養待機者52万人という数字が発表されたが、特養入所者の重点化に伴い、自立した生活を送ることが困難な低所得・低資産の要介護高齢者の地域における受け皿づくりについて、市区町村への支援を強化すること。

微小粒子状物質(PM2.5)に係る総合的な対策の推進を求める意見書

1 PM2.5の発生源の実態や構成成分の解明をした上で、法律に基づく国民にわかりやすい注意発令の仕組みを整備するとともに、環境基準を維持できるように国内外の発生抑制対策を推進すること。

2 国と地方自治体との連携を強化し、情報共有を図りながら、

モニタリング体制の整備を推進すること。

3 PM2.5による肺機能や呼吸器系症状等への健康影響に関する調査研究を進めるとともに、研究結果に基づく指針等の見直しについては、速やかに実施できる体制を整備すること。

給付制奨学金制度の創設を求める意見書

若者に高等教育の機会を保障するために、経済的困難の程度に応じて経済的支援を行う給付制奨学金を早期に創設すること。

「手話言語法」制定を求める意見書

手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、きこえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を制定すること。

編集後記

4月に行われた市議会議員選挙において、22人の議員が決定しました。市議会では5月の臨時会で新たな委員会等組織が発足しました。議会だより編集委員会は、新入議員2人を含め7人で編集を行います。今回は5月の臨時会、6月の定例会の報告をさせていただきます。

議案に対する質疑、審議した議案の結果、一般質問等、議会だよりは議会の内容を市民の皆様にお伝えする一つの手段であります。議会の内容を身近に感じ、関心を持つていただけるような議会だよりを目指し、編集していく所存です。皆様のご意見をいただきながら発行していきたいと考えていますので、ご意見ご要望がありましたらお気軽にご連絡いただければ幸いです。

平成26年7月 木村 隆彦 記

編集委員

委員長	木村 隆彦
副委員長	福井 貴代
委員	江田 治雄
〃	清野 和彦
〃	赤岩 秀文
〃	山中 進
〃	高山 宏

